

地質ニュース

昭和 48 年 6 月

第 226 号

1973

特別講演

地球科学の将来ビジョンと地質調査所への期待……………

～各界からの提言～……………地質調査所研究発表会運営委員会…1

地質学の立場から……………大森昌衛…1

地質調査所への期待……………武田裕幸…4

地質調査所への期待……………上田誠也…5

地球化学の分野から……………松尾禎士…6

鉱業界・鉱山地質学の立場から地質調査所への希望……………西脇親雄…9

鉱物学の立場より……………砂川一郎…12

海洋

マンガン航海記……………竹田英夫…14

空中電磁法 ～現状と将来(1)～……………駒井二郎…26

京都 大阪 奈良 神戸 堺 大津 の

基盤構造についての夢想⑤……………散官大夫…39

海外事情

東南アジア諸国の鉱業の現状'71……………松井寛…46

書庫からの便り⑩……………資料室…57

関東地方の地震活動に関連する地質学的・地形学的諸問題討論会予告……………45

地学と切手……………P. Q…38

編集 地質調査所

表紙の写真

中新世中期の化石珪藻

岐阜県土岐郡日吉村産凝灰質泥岩として古くから地質調査所標本室に所蔵されていた(標本番号 R792)泥岩中にこの化石珪藻群が豊富に含まれている。

土岐盆地には人形峠地区に続いて2番目に発見された日本では規模の大きなウラン鉱床が存在する。ウランは瑞浪層群の基底部に濃集しているがその上部にはウミナ科に属するピカリヤピカリエラの化石が産している。化石の内部が珪酸で置換えられたものは「月のおさがり」と呼ばれてその美しさは昔から有名である。

瑞浪層群の上半部は生依層と呼ばれる泥岩からなりこの泥岩に美麗な化石珪藻が含まれている。南方系の珪藻であるが絶滅して現在の海にはみられないものが大部分である。同様な化石珪藻群は最近能登半島基部の灘浦海岸(余川層群下部)三浦半島久里浜付近(葉山層群上部とされている)房総半島(保田層群中の石灰質団塊)にも見出された。なお遠くカリフォルニア州の中新世中頃の珪藻質泥岩にも産出している。約200倍(文沢村孝之助写真正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社